

平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 フルキャストテクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.fc-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

(氏名) 徳丸 剛
 (氏名) 山口 学

TEL 044-820-8620

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	2,159	△0.1	77	△23.7	77	△23.2	53	140.6
22年9月期第2四半期	2,161	△45.7	102	△71.7	101	△71.6	22	△85.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	939.07	938.22
22年9月期第2四半期	390.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	2,351	1,476	62.8	26,079.39
22年9月期	2,268	1,423	62.8	25,140.32

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 1,476百万円 22年9月期 1,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年9月期	—	0.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	7.2	200	△22.1	200	△21.9	200	△9.0	3,531.82

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年9月期2Q 56,628株 22年9月期 56,628株

② 期末自己株式数 23年9月期2Q 一株 22年9月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年9月期2Q 56,628株 22年9月期2Q 56,628株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては【添付資料】P.3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は輸出や政府の経済対策等を背景に、一部景気回復の兆しが見られたものの、雇用・所得環境の低迷、急激な円高等の先行き不透明要因、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、景気の先行き不透明感が高まりました。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、在庫の調整等により生産回復の兆しが見受けられましたが、景気の先行きが不透明な状況のため一部研究開発費の削減や採用の抑制が続いておりました。

当社の営む人材アウトソーシング事業におきましては、景気の後退に伴い顧客企業との派遣契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等、依然厳しい外部環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、引き続き人材の育成に注力し、付加価値の高い人材サービスの提供をすることで顧客企業のニーズに対応すると共に、営業力の強化を重点課題に揚げ、サービスの充実および派遣率の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、受注環境が緩やかに回復し稼働率が徐々に改善してきおり、ほぼ計画通りの推移となりました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、昨年度から引続き費用の抑制を行っておりますが、想定以上の効果を得ることができず減益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高2,159百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益77百万円（前年同期比23.7%減）、経常利益77百万円（前年同期比23.2%減）、四半期純利益53百万円（前年同期比140.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は2,351百万円（前事業年度末は2,268百万円）となり83百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,133百万円（前事業年度末は2,038百万円）となり94百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は218百万円（前事業年度末は229百万円）となり11百万円減少いたしました。

主な要因は、敷金及び保証金の減少によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は874百万円（前事業年度末は844百万円）となり30百万円増加いたしました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金及び未払費用の減少はあったものの、賞与引当金の増加によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は591百万円（前事業年度末は578百万円）となり12百万円増加いたしました。

主な要因は、1年内返済予定の長期借入金及び未払費用の減少はあったものの、賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は283百万円（前事業年度末は266百万円）となり17百万円増加

いたしました。

主な要因は、退職給付引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,476百万円(前事業年度末は1,423百万円)となり53百万円増加いたしました。

要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より128百万円増加し1,337百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は168百万円(前年同四半期に得られた資金は14百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益91百万円の計上、賞与引当金の増加73百万円、退職給付引当金の増加14百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7百万円(前年同四半期に使用した資金は104百万円)となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出4百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は33百万円(前年同四半期に使用した資金は50百万円)となりました。これは長期借入金の返済による支出33百万円によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成23年9月期通期の業績につきましては、平成22年10月29日付「平成22年9月期決算短信(非連結)」において公表いたしました予想から変更はありません。

平成23年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」の影響による電力需給逼迫により計画停電が実施された場合においては、当社事業に及ぼす影響が不透明であることから、現段階では合理的な算定が困難であります。今後開示が必要と判断された場合には速やかに公表いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,337,274	1,209,071
受取手形及び売掛金	596,709	611,141
仕掛品	380	713
原材料及び貯蔵品	413	916
未収入金	6,895	5,993
繰延税金資産	126,487	161,032
その他	67,496	52,279
貸倒引当金	△2,441	△2,488
流動資産合計	2,133,215	2,038,660
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,227	1,418
工具、器具及び備品（純額）	16,056	16,658
有形固定資産合計	17,283	18,076
無形固定資産		
	42,444	41,130
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
破産更生債権等	4,893	5,007
敷金及び保証金	108,685	119,358
その他	50,182	51,178
貸倒引当金	△4,893	△5,007
投資その他の資産合計	158,867	170,537
固定資産合計	218,595	229,743
資産合計	2,351,811	2,268,404
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,735	19,812
1年内返済予定の長期借入金	16,652	49,988
未払金	21,767	27,181
未払費用	248,326	280,201
未払法人税等	7,742	10,349
未払消費税等	31,873	30,158
賞与引当金	189,273	115,393
その他	58,861	45,649
流動負債合計	591,233	578,734
固定負債		
退職給付引当金	280,724	266,024
その他	3,029	—
固定負債合計	283,753	266,024
負債合計	874,987	844,758

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成23年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,500	863,500
資本剰余金	340,456	340,456
利益剰余金	272,867	219,689
株主資本合計	1,476,823	1,423,646
純資産合計	1,476,823	1,423,646
負債純資産合計	2,351,811	2,268,404

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	2,161,761	2,159,815
売上原価	1,650,620	1,700,529
売上総利益	511,140	459,286
販売費及び一般管理費	408,951	381,319
営業利益	102,189	77,967
営業外収益		
受取利息	252	129
その他	955	901
営業外収益合計	1,207	1,030
営業外費用		
支払利息	1,478	478
その他	603	678
営業外費用合計	2,081	1,157
経常利益	101,315	77,840
特別利益		
受入助成金	117,824	25,687
事業構造改善引当金戻入額	—	36,665
その他	—	52
特別利益合計	117,824	62,404
特別損失		
固定資産除却損	66	—
固定資産売却損	329	—
震災に伴う停電時休業手当	—	7,057
特別退職金	45,222	—
雇用調整支出金	134,510	38,477
寮解約損	12,735	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	2,966
その他	84	—
特別損失合計	192,949	48,501
税引前四半期純利益	26,190	91,744
法人税、住民税及び事業税	4,086	3,761
法人税等調整額	—	34,805
法人税等合計	4,086	38,566
四半期純利益	22,104	53,177

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	1,068,104	1,063,694
売上原価	808,119	824,510
売上総利益	259,984	239,183
販売費及び一般管理費	207,288	186,461
営業利益	52,696	52,722
営業外収益		
受取利息	221	128
その他	347	315
営業外収益合計	568	444
営業外費用		
支払利息	661	182
その他	300	318
営業外費用合計	962	500
経常利益	52,303	52,666
特別利益		
受入助成金	67,925	11,375
その他	△458	36
特別利益合計	67,467	11,411
特別損失		
固定資産除却損	22	—
固定資産売却損	329	—
震災に伴う停電時休業手当	—	7,057
雇用調整支出金	64,119	19,295
寮解約損	12,735	—
特別損失合計	77,207	26,353
税引前四半期純利益	42,563	37,724
法人税、住民税及び事業税	2,043	1,694
法人税等調整額	—	14,784
法人税等合計	2,043	16,478
四半期純利益	40,519	21,246

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	26,190	91,744
減価償却費	7,115	4,162
ソフトウェア償却費	6,250	6,855
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	154	△161
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,280	73,879
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,000	14,700
受取利息	△252	△129
支払利息	1,478	478
固定資産除却損	66	—
固定資産売却損益 (△は益)	329	—
売上債権の増減額 (△は増加)	21,024	14,432
未収入金の増減額 (△は増加)	149,515	△901
前受収益の増減額 (△は減少)	532	△1,575
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2	836
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,485	△3,076
未払金の増減額 (△は減少)	△135,161	△10,036
未払費用の増減額 (△は減少)	△132,917	△31,874
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,716	1,715
その他	63,229	15,906
小計	32,480	176,956
利息及び配当金の受取額	252	129
利息の支払額	△1,387	△407
法人税等の支払額	△16,707	△8,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,637	168,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△433	△2,449
有形固定資産の売却による収入	138	—
無形固定資産の取得による支出	△3,904	△4,467
定期預金の預入による支出	△100,000	—
その他	—	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,199	△7,007
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,016	△33,336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,016	△33,336
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△139,577	128,203
現金及び現金同等物の期首残高	1,109,903	1,209,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	970,325	1,337,274

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は主として技術者派遣事業を営んでおり、提供するサービスの特性と市場の類似性を考慮し、「エンジニアアウトソーシング事業」、「N&Sソリューション事業」、「ビジネスソリューション事業」の3つを報告セグメントとしております。

「エンジニアアウトソーシング事業」は、半導体、電気電子、機械、情報、化学など、各分野の技術を身に付けた当社社員（技術社員）が顧客企業からの研究開発業務へのニーズに応じて、派遣契約もしくは業務委託契約により人材サービスを提供しております。「N&Sソリューション事業」は、ITインフラのライフサイクルすべてにおいて、コンサルティングから設計・構築、運用に至るまで、トータルなシステムソリューションの提供をしております。「ビジネスソリューション事業」は、IT分野におけるオープン（汎用）系ソフトウェアやネットワーク、セキュリティ等の人材サービス事業ならびにオープン（汎用）系ソフトウェアの受託開発、販売事業の提供をしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,854,853	226,867	78,094	2,159,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,854,853	226,867	78,094	2,159,815
セグメント利益	71,660	3,858	2,448	77,967

（注）セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期会計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	915,793	116,425	31,475	1,063,694
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	915,793	116,425	31,475	1,063,694
セグメント利益	47,108	4,444	1,169	52,722

（注）セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績に馴染まないため、当該記載を省略しております。

②受注実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を性格に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

③販売実績

(単位：千円)

事業部門	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	(自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)		(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		(自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	1,874,861	86.7	1,854,853	85.9	3,724,243	86.8
N&Sソリューション事業	215,852	3.3	226,867	10.5	416,080	9.7
ビジネスソリューション事業	71,046	10.0	78,094	3.6	149,859	3.5
合計	2,161,761	100.0	2,159,815	100.0	4,290,183	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。